

## 【国土交通省】災害に対応した排水ポンプ技術(低水位排水)

### 課題の背景

国土交通省では、内水氾濫等による浸水の早期解消のため、排水ポンプ車による排水支援を実施している。

現行の排水ポンプ車に搭載している水中ポンプ（排水能力：7.5m<sup>3</sup>/min・1基、吸い込み口径：200mm）では、吸い込み渦の発生や堆積した土砂等の吸い込みによるポンプの破損・故障の懸念により、吸い込み深さ1m程度が限界である。

そのため、排水による水位低下により、水深約1m未満となった場合の排水作業継続が課題となっている。

### 求められる要件(機能要求・関連基準等)

- ・ 排水作業時の吸い込み深さ（現行は1m程度が限界）を低下（限りなく0mに近づける）させること。
- ・ 水中ポンプの吸い込み渦発生や土砂等の水中飛散を抑制すること。
- ・ 現行の排水ポンプ車に搭載可能なポンプ本体又は、現行の排水ポンプ車に搭載している水中ポンプにおいて簡易に取り付け・取り外し可能なアタッチメント等であること。